

		委員 1	委員 2	委員 3	中部運輸局
東郷町地域の公共交通会議	計画へのアドバイス	商業施設との連携に努力している印象だが、乗り継ぎなどについてはもう少し数字を見て検討をして欲しい。	セントラル地区を中心としたネットワーク形成の目標が利用者数となっているが、趣旨を踏まえると乗り継ぎ客数が本来ではないか。乗り継ぎの状況や割合をきちんと調べると、効果がよくわかると思うので把握に努めて欲しい。 →目標としては掲げていないが、乗り継ぎ数は把握している。	商業事業者との連携したイベントについて、今後拡大は予定があるか？ 新たな商業施設を拡大するという方向性か？ →イベントの継続と、拡大を考えている。ららぽーと、イオン三好店と連携しているが、今後商工会を通じて町内、近隣市の施設にも拡大を考えている。	
	個別施策へのアドバイス		ターミナルによって、町内から乗り継いで主要施設に行けるという姿にするのが本来だと思うが、着実にそういう姿に近づいているかがわからない。 ららぽーとは従業員も多く利用している印象があるが、利用者の内訳は把握しているか →把握できていない。	じゅんかい君再編で利用者増とのことだが、コロナ前に比べるとどうか？ →コロナ前に比べると減少しているが、再編後は利用増が続いている。	

		委員 1	委員 2	委員 3	中部運輸局
常滑市地域公共交通協議会	計画へのアドバイス	<p>地域の優位性や特性を踏まえることが重要。5年という期間を考えるとあまり長期の視点を持たなくても良いだろう。</p> <p>都市計画とのリンクは大切だが、縛られすぎるのではなく、ベクトルを合わせて計画を作り込んで欲しい。</p>	<p>再編したばかりのこのタイミングでなぜ計画策定をするのか？ 一般論的なものではなく、常滑の場合はファンバスを活用した無償バスなど特徴的な取り組みを行っているので、それを踏まえた調査や方針が必要ではないか。</p> <p>グルーンの利用状況や、外れた地域にどう対応するかという事に絞っても良いのではないか。</p> <p>公共交通計画を作ること自体は良いが、実態とかけ離れないようにしていただきたい。</p>	<p>調査結果を踏まえて、どのような計画を立てようとしているのか。現時点の方向性として、今の公共交通ネットワークを大幅に見直すのか、今あるものを基本としていくつもりなのか？</p> <p>→既存のネットワークをベースにしながら新たなモビリティなども付加して最適化したい</p>	
	個別施策へのアドバイス				

		委員 1	委員 2	委員 3	中部運輸局
東海 市地 域公 共交 通会 議	計 画 へ の ア ド バ イ ス	次の計画への移行時期であるので、幅広く検討してほしい。これまでの計画の振り返りも必要。将来のまちの形を見据えた中での公共交通の位置づけを期待する。	R2年度より、R3年度の方が、利用が減っている。再編が良くなかったのか？ →昼間5便から4便に減少した影響が大きい。R4年は30万人を越す予定で、伸びている。 今回の調査で課題を見極めることができるか。今までの再編の見直しが必要ではないか。	比較的計画は大幅な変更というより、ソフト面の施策が中心という認識で良いか →巡回バスの大幅に見直しを予定。利用者のニーズ調査をしてバスの全面再編に向けて動いている。その他、福祉交通も含めて検討したい。 計画の評価については新たな指標を導入するということか？ →検討中である。	
	個 別 施 策 へ の ア ド バ イ ス		現状のバスを補完するデマンド交通の導入等については検討しているか。 →福祉交通も含めて検討したい 横須賀線や長寿医療センター、元気の郷も考慮する必要がある。再編する機運はあるか。 →R6年に新道が開通するため、知多バスと協議を予定。 新駅への対応は？ →R5年末開業予定。バスをロータリーに乗り入れ予定。		

		委員 1	委員 2	委員 3	中部運輸局
刈谷市都市交通協議会	計画へのアドバイス	実効性のある計画となるように進めて欲しい。	データで把握することは大切だが、より大切なのは実効性のある計画にすること。実効性を高める事を考えるべき。そうでなければ地域に入り込んでも実現できない。	ビッグデータから何を明らかにしようとしているのか →市民アンケートと住民WSだけでわからない客観的な移動状況を把握 調査結果を具体的にどのような施策につなげるのか →中学校区単位での移動ニーズがあることが把握できたため、デマンド交通の導入などを検討	
	個別施策へのアドバイス				

		委員 1	委員 2	委員 3	中部運輸局
碧南市地域公共交通活性化協議会	計画へのアドバイス	地域公共交通計画を作り、都市計画と連動することも求められている。長期的な視野も考えて欲しい。	くるくるバスを基本とする方針が再確認できたと思い、問題ないと思うが、今後は高齢者もクルマを手放さない事が想定される。こういう人にどうアプローチするかというソフト施策が重要。 →アンケート結果から、くるくるバスが無償であること、行先、時間帯などが意外と知られていない事がわかったので、PRしていきたい。	碧南市の特性を踏まえた課題とは何かが見えない。具体的な施策としては路線見直しだけでなく、計画の全体的な方向性を考えて欲しい。 →アンケート結果で7割が満足という結果のため、今あるものを維持することを基本に考えたい。	
	個別施策へのアドバイス	バス停カバー率を500mで取っているが、高齢者を考えるのであれば大きいと思う。移動制約者をターゲットとするのであれば、もう少し狭い範囲で考える必要もあるのではないかな。	くるくるバスの路線は1周3時間かかることが問題なのではなく、行きたいところに行けるか、余計なところに寄って不便か、ということがないかどうかを確認すべき。方針は良いが、具体的にどのような路線として組み立てるかを考えて欲しい。 GTFS データやおすすめルートなどのソフト施策を実施すると良い。		

		委員 1	委員 2	委員 3	中部運輸局
安 城 市 の 総 合 交 通 会 議	計 画 へ の ア ド バ イ ス	今年度計画が第2期になる。色んな取り組みをやっているが道半ばである。地域でどんなことができるかという選択肢を考えていただきたい。	総合交通について考える必要。タクシーや様々な交通体系を含め、空白をいかに埋めるかに舵取りしていく必要がある。 →地域からはデマンド交通を入れてほしいという声も上がっているが、あんくるバスは地域でまんべんなく使ってもらっている。データ、アンケートを取って今後の方針を考えていきたい。	アンケートの対象は利用者か、住民か。 →R3年はバス利用者、R4年度は市民。様々な分野との連携、タクシー運転手確保、住民による交通組織の立ち上げ支援するといっているが、具体的な内容は。 →大河ドラマの関係で観光施策と一緒に公共交通をアピールしていく。タクシーの運転手不足は、具体的な施策は明確にはなっていないが、就職支援なども考えている。今後も、地域の意見交換会をより密にしていきたい。	
	個 別 施 策 へ の ア ド バ イ ス		JR、名鉄線は等間隔で走っているが、バスと接続していない。一路線一事業者で走らす現在のスキームの限界では。系統番号が書いていてわかりやすいが、柔軟にダイヤの再編ができない。 →今のところ見直しは考えていない。	公共交通のPRチラシをどこで配るか。 →公共施設、観光地、鉄道駅で配布し、HPにも掲載する。	

	委員1	委員2	委員3	中部運輸局
刈谷・安城・碧南・西尾交通圏	いきなり一緒に施策を考えるのは難しいが、まずはお互いの公共交通会議にオブザーバー参加するようなところから連携を始めてはどうか。	<p>各市町村でそれぞれ取り組んでいるが、人の動きは市町村境を越えるものも多い。お互いのコミバスを乗り入れるなどと、利便性が高くなった上で効率的になる可能性もある。周辺市町と連携するとどういった良いことがあるかを考えてみると良い。</p> <p>運賃が違うなど統合するのは難しいかもしれないが、路線図を統合するなど見せ方を工夫するだけでも効果があると思われるので、一度、交通圏の市町で協議する機会を設けてはどうか。</p> <p>そういうところからそれぞれの計画に反映できることも出てくるだろう。</p> <p>人口が多いところなので、地区によっては鉄道でカバーできないニーズもある。それぞれの公共施設の活用なども含め、全体として便利にするようなことを考えてはどうか。</p>	<p>自治体間の連携の話がなかった印象を受ける。それぞれの市の担当者が一堂に会して問題を持ち寄って、連携したときに解決できないか話し合う機会を作ると良い。</p>	

		委員 1	委員 2	委員 3	中部運輸局
春日井市地域公共交通会議	計画へのアドバイス	人口カバー率改善は北部オンデマンドで改善されているが、利用者数は北部は13000から7500へと下がっている。どう解釈すべきか →運行エリアは小さくなったが、その部分は東環状線によりカバーしているため、問題ないと考えている。	いろいろな取り組みが、計画全体から見たときにどう位置づけられるか。横展開する具体的な目処はあるか。 →具体的なものはない。 団地は年齢が固まっているので、突然問題が表面化する事がある。そういうことを踏まえて施策を考えるべき。	計画の全貌がわかりにくい。それぞれの項目はわかるが、つながりがわからないので、市民に理解してもらいにくいだろう。市民にわかりやすく伝える努力を期待する。	
	個別施策へのアドバイス				

		委員 1	委員 2	委員 3	中部運輸局
扶桑町地域の公共交通会議	計画へのアドバイス	<p>地域公共交通の課題整理の内容が具体性に欠けるが、どのように計画に反映させるか。</p> <p>→町民の意見交換会や子育て世代へのアプローチを考えている。</p>	<p>運賃設定やどういう運行とするかについてどのように考えているか。またそれを考えるための調査や検討が必要。それがなければ役割分担ができない。計画策定プロセスと、チョイコソの実証実験のリンクが分かりにくい。</p> <p>チョイコソとの役割分担の中で、定時定路の方がいい路線もあるかもしれない。</p> <p>→事業者ヒアリング、パブリックコメントで声を聴いてすすめたい。計画策定の中で、基幹路線をどういうふうにしていくかを盛り込んでいく。</p>	<p>何故計画をつくるのかという問題意識が見えにくい。チョイコソと公共交通計画の関連がわかりにくいため、整理が必要である。</p>	
	個別施策へのアドバイス				

		委員 1	委員 2	委員 3	中部運輸局
長久手市地域公共交通会議	計画へのアドバイス	<p>住民の要望に応じてきた結果、N-バスと路線バスが重複しており、使い分けができる一方で、交通ネットワークのあるべき姿と外れてしまっていることが課題。</p>	<p>昨年4月の高齢者有償化で、以降半年間の利用者数が前年同月比5%減になったとのことだが、減った内容、出かなくなった人がいるのか、回数が減ったのかということを手際よく把握して欲しい。</p> <p>→意外と少なかった。1年間延期して説明会を行い、理解を得られたためだと思う。乗降調査の結果などを活用して把握していきたい。</p> <p>幹線は路線バス、支線はコミバス、乗り継ぎ割引をするなどして、一体的なネットワークを作る流れになっている</p> <p>→今後の再編で意識したい。</p>	<p>愛知医科大学病院線がネットワークの図に入っておらず、市が考えていないという風に見える。瀬戸市や尾張旭市との連携も考えていただきたい。</p> <p>→愛知医大は結節点と認識している。</p> <p>デマンドの検討も良いが、N-バスをどううまく使うのかについても検討いただきたい。</p>	
	個別施策へのアドバイス	<p>公共交通応援隊は具体的にどのような効果があるか？</p> <p>→取り組んだ結果、実際にどのくらいバスを利用されたかわからないが、子供たちにPRができた。</p>	<p>デマンドのニーズはあるが、実際に乗るかどうかは別。今までのN-バスが路線バス補完するという状況が変わってきている。見直しの時期ではないか。</p> <p>→デマンドや再編のあり方も考えていきたい。</p>		<p>N-バスはフィーダー系統だが、接続先の幹線である名鉄バス愛知医科大学病院線が補助ギリギリの状況。名鉄バスとの重複解消など早急に取り組まないとネットワーク維持ができないので検討して欲しい。</p>

		委員 1	委員 2	委員 3	中部運輸局
蒲 郡 市 地 域 公 共 交 通 会 議	計 画 へ の ア ド バ イ ス		フィーダー路線だけだと行けるところが限られるが、鉄道やバスと乗り換えることで可能性が広がることを考えるべき。	フィーダーの増便には投資が必要なので、収支率についても把握する必要がある。収支率 10%は達成可能な目標か。目標値が全く達成できない値なら目標の意味がない。地区によって状況も違うので一律のもとではなく、地域毎に議論して決めていただきたい。 →免許返納を進めることも必要であり、フィーダーの PR を進め、使ってもらうことで収支率を高めたい。	
	個 別 施 策 へ の ア ド バ イ ス	路線バスの利用が R3 まで減少し続けているが、R4 はどういう傾向か？ →市民病院への利用が多いがお見舞いが制限されていることと、コロナ減便が続いている影響と認識している。 フィーダーはコロナ前と比較してどう いう状況か。 →形原地区は住民の努力によりコロナ前レベルに戻っている。他路線はコロナ後に運行開始した路線のため、コロナ前との比較不可。	コミバス 5 路線に差がある。同じような運行で良いのか疑問。今後どのような方針か。要望通り実施しても利用が増えるとは限らないので注意が必要。 →運行日数を一律にして利便性を高めたい。路線も延長の要望も検討したい。		

		委員 1	委員 2	委員 3	中部運輸局
豊川市地域公共交通会議	計画へのアドバイス		<p>運賃が路線バスとコミバス共通なので利用者には便利だが、市民にどの程度浸透しているか。</p> <p>→10年経つが、周知が足りず浸透しているとは考えていない。</p> <p>イオンモールによる利用増加が予想されるが、一方で今までの課題を忘れないことが大切。</p> <p>→R3年10月に路線再編で利用が減少したが、今は微増傾向。浸透してきたと考えられる。反映できる見直しはすぐに対応できるようにする。</p> <p>鉄道も一体的に考える必要がある。共同経営やエリア一括等の支援制度の活用も視野に入れてほしい。</p>	<p>共通ゾーン制など、豊川市では他にない取り組みを行っているが、新豊線や市民への利用促進PR、民間交通事業者等とイオンモールの連携についてもまだ詰められていないことがある。</p> <p>次のステップについて考える時期なので、その辺りも検討してほしい。</p>	
	個別施策へのアドバイス	<p>豊鉄バス豊川線の再編で、R4年に利用が増えると見込んでいたが、利用が減っている。この減少の理由を把握することが大変重要。</p> <p>→定期外の利用者が大幅に落ちていると考えている。</p>	<p>運賃の周知はアンケート調査をしても効果が薄い。バス車内外や停留所に案内を掲載し発信していく方が効果が見込める。イオンモールは情報発信するチャンスなので活用してほしい。</p> <p>名鉄豊川線について触れられていないが「売り」を皆さんに発信して、公共交通の存在感を市民の皆さんにお伝えすることが大切。</p> <p>→豊川線の増便について、イオンモールと共同して利用促進に取り組んでいる。</p> <p>諏訪町駅前のバス停が心堂教前という名前で利用者にとってわかりにくい。</p>		

		委員 1	委員 2	委員 3	中部運輸局
新 城 市 地 域 公 共 交 通 会 議	計 画 へ の ア ド バ イ ス	<p>これまでの取り組みの中でうまくいった施策があれば教えて欲しい →西部線の見直しは検討を進め4月に実施予定であり、乗り方教室なども地域が自発的に体験会を開くなどしているので、こういう動きを拡げていきたい。</p>		<p>網形成計画の際も地域毎に検討するという話があったが、新しい計画では何が変わったのか。 →以前は市からお願いをして検討してもらっていたが、今計画では地域からの自主的な動きがなければ進めない。地域にも浸透して進んでいる。</p> <p>網形成計画の評価指標について整理して総括して次のステップにどうつなげるかを整理して欲しい。</p>	
	個 別 施 策 へ の ア ド バ イ ス				

		委員 1	委員 2	委員 3	中部運輸局
北設楽郡地域公共交通活性化協議会	計画へのアドバイス	全体像が見えづらい。どういう方針で進める予定か。一枚の絵で見せてもらえると良い。 →基幹バスは残し、支線については利用状況によって判断するのが基本。		評価数値に対して結果が述べられているが、その要因についての考察が少ないのできちんと把握し、住民にも伝えていただきたい。	
	個別施策へのアドバイス	田口新城線については、新城市とも連携して進めて欲しい。		東栄まちなか線の再編結果を検証していくことが大切。	

	委員 1	委員 2	委員 3	中部運輸局
新城交通圏		<p>新豊線は新城市内の運賃に手が付けられていないし、利用促進もできていない。設楽からもイオンまで行くことができるので何らかの施策を行うと良い。 →東三河 8 市町村の協議会とも連携しながら IC カード導入もあるため、取り組みたい。</p> <p>豊川市、新城市、北設楽郡のそれぞれの取り組みを合わせた図を作り、東三河地域としてどういうところを目指すかというのを考えてはどうか。</p> <p>田口新城線の見直しは利便増進事業も視野に入れるべき。</p> <p>タクシーについても忘れてはいけない。同様の問題は各地であると思われるので、国にも検討をいただきたい。</p>	<p>田口新城線もだが、新豊線も心配である。新城交通圏では地域間幹線の問題をクリアしないとフィーダーが大きな影響を受ける。東三河の協議会も活用して検討を進めて欲しい。 →田口新城線と四谷千枚田線の見直しを予定しており、その後も田口新城線のリニューアルを半年くらいで検討したい。</p>	<p>田口新城線は局としてもサポートしたい。</p>

	委員 1	委員 2	委員 3	中部運輸局
愛知県公共交通協議会	<p>幹線の二極化が進んでいる背景について検討・分析しているか？ →人口減少に地域差がある影響かと思う。</p>	<p>県としての考え方を明確に示す必要がある。それがなければ市町村は不安である。県として必要と考える系統を明確に示して欲しい。</p> <p>同時に、国との協調補助について今後どのような方針を採るのかも明文化する必要がある。計画の策定はオープンに議論して欲しい。</p> <p>地域間幹線系統は、総合病院や県立高校の配置とも関係する。県としてどのようにするのかしっかり考えて欲しい。</p>	<p>市町村の意見を踏まえて計画の検討をお願いしたい。</p> <p>市町村も幹線は県がやっているという態度ではいけないので、市町村の協議会に幹線の情報が入るようにしていただきたい。</p>	